

長岡市議会議員

松井一男の

市議会だより

第十九号(平成三十一年三月発行)



日増しに暖かくなってまいりました。今冬は雪が特に少なく、過ごしやすかったです。日々でしたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

この市議会だよりは、市議会や市政のようすを皆様がたに分かりやすくお知らせするため、お届けしているものです。

松井一男

長岡市 平成三十一年度予算案

平成三〇年は、長岡開府四百年、戊辰戦争百五十年の節目の年でした。

磯田市長は新年度予算編成にあたり、「米百俵の精神が息づく長岡として、次の百年を作り出す人材と産業を育成すると共に、将来のための投資を『新しい米百俵』として積極的に行います」と決意を示されました。

平成三十一年度予算案は、二月十四日議会に對して提示されました。

三月一日に開会する、長岡市議会三月定例会で予算審議が行われ、三月二十六日最終本会議において議決見込みです。

新年度予算は『新しい米百俵で未来を切り開く予算』として、一般会計は一千三百五十三億円(前年比▲2.4%)、特別会計、企業会計含めた総予算は二千八百八十五億円(前年比▲1.8%)としていきます。

制度融資総枠の見直し減や、市債(市の借金)の返済額減などにより、予算規模は縮小しているが、必要な市民サービスは確保しつつ、未来の長岡に向けて重点施策には積極的に投資するとしています。

主要事業について

新年度予算は引き続き長岡版イノベーション(技術革新など)を推進し、産業振興や将来に向けた人材育成・投資に重点を置く他、市民の暮らしを支える各種施策に配分するとしています。

新たな事業としては

- ・ 東京圏からの移住者への支援として、市内企業への勤務を伴う移住に助成。
- ・ 外国人人材の活躍のための環境整備として、留学生向け企業見学会開催やベトナム語通訳者の配置など。
- ・ ロボカップジャパン大会の長岡開催
- ・ 特定世代男性に対する風しん予防接種
- ・ バス交通空白地域における公共交通の社会実驗(栃尾、和島地域)



市財政の今後の見通しについて

新年度予算案提示に合わせ、財政の現状と見通しについて説明がありました。

基金（市の貯金）は減少傾向だが、市債残高（市の借金）はピーク時の平成十七年度から723億円を削減でき、実質公債費比率（財政の健全度合いを示す数字）は6.5%と健全だとしています。

しかし、今後の見通しは、市税収入の伸び悩みや固定経費の増加等で、新たな政策に振り向ける一般財源のゆとりが少なくなると思込んでいます。

・基金残高 平成30年度末 94億円

平成31年度末 71億円

・市債残高 平成17年度 2282億円

平成31年度末見込 1559億円

・市民一人あたりの市債残高は57万円で、ピーク時の14年前に比較して22万円の減少となっています。



中之島地域の主要事業

中之島地域では近年大きな自然災害も無く、県営ほ場整備事業が概成し、公共下水道事業もあと僅かで整備完了となります。今後は今ある資産を良好に維持管理しつつ、必要な更新費用の確保などが課題と考えられます。

主な事業として、

・中之島コミュニティセンター上通分室の基
本設計費用【新規】500万円

・公共下水道整備事業（下沼新田、中之島西
野） 2.5億円

・新たな産業団地の整備検討費用（候補地の
予備検討等）【新規】250万円

・小中学校等普通教室の冷房設備工事（国の
補正予算を活用し12月議会にて補正予算議
決済）全市で27億円



近所の双林寺様で除夜の鐘

市議会に行政監視機能強化 特別委員会を立ち上げました

この度の入札談合等事件については、市役所幹部二名が逮捕されるなど、長岡市にとって重大な事件であり、行政を監視する役割の市議会議員の一人として、大いに不明を恥じております。

市議会では、二月一五日の臨時議会において、『官製談合事件の検証と再発防止を求める決議』を行うと共に、『行政開始機能強化特別委員会』を設置し、市議会の監視機関としての責任を踏まえ、入札・契約制度に関する調査や議案審議のあり方について検討を行って行く事としました。

ホームページもご覧いただけます！

松井一男は、初当選いらい皆さんに議会や市政の様子をお伝えするために、ホームページやFacebookで情報発信を続けています。タブレットやスマートフォンにも対応しておりますので、ぜひご覧いただき、お気軽にご意見やご要望、いいね！をお寄せ願います。

<http://www.kazuom.net/>

<https://www.facebook.com/m21kaz/>

松井一男

検索

WebSite



facebook

